

よいしょー!!!

第42回久慈地方産業まつり復興感謝祭は10月15日と16日、アンバーホール周辺で開催。子どももちつき大会では「よいしょー!」と、力を合わせてもちをつく、親子の元気な声が響きわたりました（関連記事 18頁）

浜 勝負どころ

P 2—5

ごみ事情、切迫

P 12—15

平成22年度決算

P 16—17

浜勝負

東日本大震災で大きな被害を受けながらも、これからも海で生きていくことを決め、立ち上がった漁業者。11月中旬から12月にかけて最盛期を迎える秋サケ漁は、そんな漁業者にとっても重要な存在です。特に、定置網漁を行う漁業者は秋サケ漁に再起をかけています。生活の立て直しをかけた正念場。浜は今、勝負どころを迎えようとしています。(5ページまで)



腕にぐっつと力を込め、網を起こす小袖定置網組合の組合員

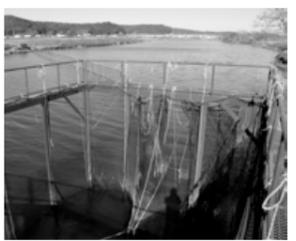
近づく最盛期 誰もが必死

最盛期が近づく秋サケ漁。久慈市の漁業にとって重要な時期を控え、携わる人は誰もが必死になっています。

秋サケ漁の重要性

久慈市の漁業に壊滅的な被害を及ぼした東日本大震災。震災発生から7カ月あまりが経過し、漁港施設や漁船などの復旧が進む中、秋サケ漁の最盛期が近づいてきました。11月中旬から12月にかけてピークを迎える秋サケ漁は、久慈市の漁業にとって重要な存在です。

確保のため放流も



上流側に移築した久慈川協会のサケ採捕場。今後、採卵作業場なども整備する予定です

北海道・東北地方の秋サケ漁はこの定置網漁が中心です。昨年、市内でも定置網13カ統が設置され、盛んに漁を行っていました。大震災で船や網は大きな被害を受けましたが、漁業者の熱意と努力により、10月中旬までに9カ統まで回復しています。久慈市漁業協同組合の嵯峨松男参事は、定置網漁と秋サケ漁の重要性を語ります。「定置網漁は新造船の到着などにより11月中には7割程度回復する見込みです。サケの水揚げは定置網漁の回復具合が鍵になります。漁業者の大きな収入源でもあるサケが捕れるかどうかは今後の死活問題。漁の最盛期を迎える11月と12月が勝負どころです」。

9月末現在、市営魚市場の本年度水揚げ量は5,296トンで、前年同期と比べて112.2%と増えています。東日本大震災で大打撃を受けながらも、水揚げ量が増えた一番の要因は夏イカの豊漁。製氷工場と給油施設を早期に復旧できたため、多くの外来船を受け入れることができ、イ

カの水揚げは3,753トン、前年度比176.5%に上っています。震災前617隻あった漁船は9割以上が被害。函館義援船などにより登録数は約250隻まで増加しています。1/魚市場に水揚げされた大量の夏イカ 2/船に氷を補充。製氷工場などの復旧が外来船の受け入れを支えました



■表/ 22年度市営魚市場水揚げ量

魚種	水揚げ量	割合
イカ	6,878.3ト	56.8%
サケ・マス	1,488.7ト	12.3%
サンマ	978.0ト	8.1%
イワシ	628.9ト	5.2%
サバ	420.9ト	3.5%
その他	1,714.7ト	14.1%
合計	1万2,109.5ト	100.0%

※0.1ト未満は四捨五入しています

鍵となる定置網漁

定置網とは、魚を捕るための網を網や杭で海底に設置した固定式の漁具の一つ。魚を網の中へと誘い込むような構造になっていて、中に入った魚を網を巻き上げるなどして一挙に捕獲します。



言葉に力を込める嵯峨参事

力のかもった言葉からは強い意気込みと、必死さを感じられます。

「震災で状況は大きく変わりましたが、何とかサケを確保します」と意欲をみせます。定置網漁も稚魚放流も、携わる人たちは誰もが必死です。

同組合の嵯峨清悟課長は「震災で状況は大きく変わりましたが、何とかサケを確保します」と意欲をみせます。定置網漁も稚魚放流も、携わる人たちは誰もが必死です。



1 / 出港を控え船上では準備が進む (4:49)
2 / 赤磯漁場付近に到着。暗がりの中、両手で船を誘導 (5:00)



3 / 腕に力を込め、網をぐっと引き上げる。作業を進める乗組員の表情は皆真剣 (5:13)
4 / 網起こしの作業開始から約30分。船の近くまで引き寄せた網の中では、魚がしぶきを上げる (5:36)
5 / 網から船に揚げられる大量の魚。これを数回繰り返す。最盛期にはこの何倍もの量が揚がる (5:40)



再起をかける 海の男たち—

大震災後も漁業を生業とし、漁に出続ける漁業者。10月17日から定置網漁を再開した小袖定置網組合を取材しました。

早々に継続を決定

大震災で船や漁具を失い、収入を得るすべを奪われてしまった漁業者。窮地に立たされたながらも、懸命な努力を続け、漁再開にこぎつける人が少しずつ増えてきました。小袖定置網組合も大震災で所有する船4隻全てを失いましたが、震災後早々に臨時総会を開き、漁を続けることを決定。船は石川県の造船業者にいち早く発注しました。待望の新造船「第38大漁丸」は10月上旬に到着。漁を行う「赤磯」と「えびす」2つの漁場のうち、ひとまず赤磯の準備を整え、17日から定置網漁を再開しました。

漁再開に勢いづく

漁再開3日目の10月19日4時20分。肌を突く寒さの中、組合員は日が昇る前から黙々と漁の準備を進めていました。組合員は真新しい第38大漁丸と震災後に調達した中古船の2隻に乗り込み、小袖漁港を5時前に出港。5分ほど船を進め、漁場に到着しました。2隻が網をはさむように対面すると、組合員は、あうんの呼吸で網起こしを開始。それぞれの持ち場で機敏に動き、腕に力を込め網を引き上げ、作業開始から約30分、船の近くまで引き寄せた網の中には、しぶきを上げるサケやサバなどの姿が。すぐさま魚を船へと積み揚げると、船は市営魚市場に針路をとりました。魚市場での水揚げでも組合員は手際よく作業。この日はサケやサバ、シヨッコなど約1トの水揚げがありました。漁再開を喜び、勢いづく組合員。漁業と生活の立て直しを。再起をかける海の男たちは、最盛期が迫る秋サケ漁に意欲を燃やしています。

港に活気を 揺るぎない決意

意気込みあふれる

この海が自分たちの生きる場所。大震災に見舞われ、船や漁具などを失いながらも、漁業を生業とし続け、漁に再起をかける漁業者。漁の現場は、その強い意気込みであふれています。

例年より高い海水温が影響してか、10月までのサケの水揚げ量は低迷気味ですが、定置網漁が回復し、最盛期を迎えるこれから勝負どころ。大震災で漁が遅れた分を少しでも取り戻そうと、漁業者は皆、必死になっています。市漁協の自健一郎組合長は意気込みを語ります。

「完全復旧はまだですが、正直、あの大きな被害からよくここまで復旧したと

思っています。函館から届いた義援船など、温かい支援もいただきました。本当にありがたいことです。低迷気味とはいえ、それでもサケはこれからが本番です。何とんでも捕りたいと誰もが思っています。私たち海の男は、海で生きていかなければなりません。これしかない。やるしかないのです。みんなの力を合わせ、久慈の港に以前の活気を取り戻したいと思います。やるしかない。力を込めた言葉からは、揺るぎない決意が感じられました。

これからも海で—

最盛期を迎える秋サケ漁に加え、アワビも口開けされる11月。アワビ漁は函館義援船のおかげで全漁業生産部が行える見通しとなっています。大震災で誰もが苦しさや悲しさ、悔しさを経験したはず。それでも屈せず、立ち上がる漁業者の姿を見ると、豊漁を祈らずにはいられません。秋から冬へ、寒さが増していく中、迎える勝負の正念場。これからも海で生きていく。大震災にも屈しなかった久慈の漁業者は、強い気持ちで歩みを進め、港に活気と希望を取り戻すことでしよう。

光と希望あふれるように—

朝日を浴びながら進められる水揚げ作業。輝く朝日のように、さらに港に光と希望があふれることを、祈らずにはいられません



海の男は
海で生きる。
やるしかない
のです—



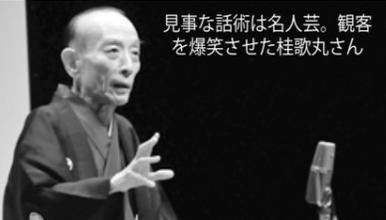
久慈市漁業協同組合
自健一郎 組合長

ここが生きる場所。どうにか漁を軌道に— 大久保 廣高 小袖定置網組合・船頭

船が無ければ仕事にならない。待ちに待った船が届き、船がないときは気持ちが全く違います。漁に出て網を起こせることを、皆が喜んでいるようです。これから何とんでもサケを捕っていかなければなりません。これからピーク

を迎える秋サケ漁に、それぞれが強い思いを持って臨んでいます。自分たちが生きる場所は、この海です。生きていれば何とかかなる。震災で被害を受けた、えびす漁場も立て直し、11月にはどうにか漁を軌道に乗せたいです。





見事な話術は名人芸。観客を爆笑させた桂歌丸さん

復興願い笑いと元気

東日本大震災復興支援「芸協出前寄席」は10月3日、アンバーホールで開催。見事な落語やマジックショーで観客840人に笑いと元気を届けました。桂歌丸さんは「今こそ日本が一丸に。皆さんの復興を心から願っています」と思いを込めていました。



イヌの形が愛らしい心温まるベンチ

大分から温かベンチ

大分県から助成を受け、大分県森林組合連合会が復興を願って製作した木製ベンチ5脚が10月3日、久慈市に寄贈されました。かわいらしいイヌをかたどった温かみのあるベンチは中町イベント広場に設置。11月には東屋も巽山公園に設置される予定です。



市役所前で贈呈式

作業支援にワゴン車

10月16日、日本電動式遊技機工業協同組合（里見治理理事長）と回胴式遊技機商業組合（伊豆正則理事長）から、15人乗りワゴン車1台が市に寄贈されました。車両は当面、震災復興作業員の移動などに活用した後、患者輸送などへの活用を検討する予定です。

TOPICS 北限の海女感謝の日



感謝を込め、来場者にウニを手渡す北限の海女

小袖北限の海女の会

全国からの励ましに感謝の実演

東日本大震災で大きな被害を受けたながら、7月から9月まで素潜り漁の実演を行った小袖北限の海女の会（大向広子会長）。同会は、実演期間の最後の日曜日となった9月25日、小袖海女センター周辺で「北限の海女感謝の日」を開きました。はじめに大向会長は「地域のにぎわいを取り戻したい、伝統を残したい」と思い、実演を行ってきました。全国からの力強い励ましを力にし、今年も活動できたことに感謝します」とあいさつ。県内外から駆けつけた観客の前に、思いを込めました。続く素潜りの実演では、9月下旬で水温も下がっているにも



上/全国からの励ましに感謝する大向会長（左から3人目）
下/しなやかな動きで潜り、ウニを採る海女。観客は大拍手

かかわらず、5人が海に潜り、次々とウニを採取。来場者は、そのしなやかな動きと見事な伝統の業を食い入るように見つめ、感動と激励の拍手を何度も何度も送っていました。大阪府から訪れた栗田陽志さん、喜久代さん夫妻は「すーっと潜っていく姿がとても格好良かったです。本当に感動しました。ウニの味も最高。これからも頑張ってください」と、熱いエールを送っていました。

TOPICS 母校の久慈高で演劇披露



新井代表 家族愛を表した感動のラストシーン

演技集団・朗

日常の大切さ 演劇で訴え

久慈高校卒業生の新井浩介（本名・細越幸司）さんが代表を務める演技集団・朗は9月30日、同校で演劇「Sky」のあの日を向こうに」を披露。新井さんが同校に申し出てたことで公演が実現しました。「Sky」は新井さんの脚本で、交通事故で突然妻子を失った男性が、家族愛や友情などの絆にふれ、前に進んでいくという感動作。役者は熱のこもった演技で生徒たちに日常の大切さを訴えました。阿部遥さん（2年）は「学校に被災した人もいる中、大切なものを教えてもらいました」と感動。新井さんは「時代を担う生徒たち。人の絆を支えにし、日々の一瞬一瞬を大切に生きていってほしいです」と願いを込めていました。

9月11日～10月10日受付分

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。9月11日～10月10日までに受け付けた分は次のとおりです。（敬称略）熱い支援ありがとうございます。

救援支援物資

- 県外
 - 【秋田県】▼（株）タニタ秋田
 - 【神奈川県】▼泉沢久枝
 - 【三重県】▼メカウイングス（株）
 - 【大阪府】▼都設計工業（株）
- 大阪商工会議所後継者練成塾OB会（楽天会）
- 【沖縄県】▼名護市

義援金

【振込】
岩手銀行久慈中央支店
普通預金 2057188
久慈市地震災害義援金
※入金前に下記まで連絡をお願いします
社会福祉課 ☎52-2119

【現金】
市役所で受け付け中

- 県外
 - 【茨城県】▼中山亜津紗
 - 【埼玉県】▼矢津将也
 - 【千葉県】▼関口英行▼船木陽子
 - 【東京都】▼（有）源▼青柳柳子▼大林修子▼荻野由美子▼兼田博光▼五味秀春▼酒井敏彦▼坂口弦太郎▼重岡菜穂子▼永峰高志▼降旗貴雄▼堀井精一▼俣野賢仁▼村井将▼やすみりえ
 - 【神奈川県】▼青山聖樹▼市川雅典▼銅銀久弥▼飛澤浩人▼布

寄付金

- 県外
 - 【東京都】▼新日本婦人の会
 - 【その他】▼匿名1件
- 県内
 - 【盛岡市】▼（社）岩手県測量設計業協会（二戸市）▼二戸ガ

- 谷文明▼東山加奈子▼日高剛
- 【長野県】▼中島とよ子
- 【鳥取県】▼棚橋恭子
- 【広島県】▼加瀬美咲
- 【その他】▼匿名1件
- 県内
 - 【盛岡市】▼日本ユーラシア協会岩手県連合会▼遠藤匡俊
- 市内
 - 【企業・団体】▼宇部中学校生徒会一同▼西の沢町内会
 - 【個人】▼正路文七▼渡邊光男
 - 【口座振替】
 - 【個人】▼オオサワ・ヒロキ▼オオミナミ・サキコ▼オガワ・カツノリ▼クワシマ・シゲスミ▼シミズバタ・ヨウイチ▼シラハタ・ヒトシ▼タテハタ・ユリ▼タナカ・ケイコ▼チバケン・イシイ・タケヒコ▼トチギ・ユウキ▼ハナリ・ジュン、ハヤシ・シオ▼ミヤモト・トシアキ▼ムラタ・ハシメ
 - 【その他】▼匿名2件

市災害義援金に皆さんのご協力を

市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。この義援金は、東日本大震災で被災した久慈市の皆さんに分配されます。ご協力よろしく願います。

▼受付期間

平成24年3月31日まで

▼受付場所（現金）

- ①社会福祉課（市役所1階）
- ②山形総合支所
- ③各支所（宇部、侍浜、山根）

▼その他の受付方法

- ①現金書留：宛先はこちら
〒028-8030
- 久慈市川崎町1番1号
- 久慈市役所社会福祉課

※表に「救助用郵便」と明記

- ②口座振込：金融機関名や口座番号などは、上の枠「義援金」のとおりです

※10月10日現在、久慈市に寄せられた義援金は877件、

7497万1663円です

☎社会福祉課 ☎52-2119

支援 PICKUP

リトアニアの優しさに笑顔



届けられた作品に笑みを浮かべる園児

リトアニア共和国クライペダ市が本市の姉妹都市であることが縁となり、同国の子どもたちが復興の願いを込めて制作した約330点のメッセージカードや雑貨などが久慈市に届けられました。かわいらしい花や青空などが描かれ

た心温まる作品は9月まで久慈湊保育園に展示。中には日本語で「ともだち」と書かれた作品もあり、園児は作品を通してリトアニアの優しさにふれました。かなりや組の横道心優ちゃんと堀越希空くんは「かわいい絵とかを、いっぱい届けてくれてうれしい！」と目を輝かせて喜んでいました。



真剣な表情で取り組む山形中の生徒

子どもたちは学んでいます 救命方法！

意識も呼吸もない。命が危険にさらされたとき、倒れた人の命綱になるものがAED（自動体外式除細動器）と心肺蘇生法。久慈管内では、消防や教育機関などが連携して各学校の授業の中でAEDと心肺蘇生法を指導し、子どもたちへの普及を目指しています。

9月30日には山形中学校で授業を実施。小学校のころから繰り返し学んできた生徒たちは、この日も真剣な表情で、命を救う方法を確認していました。

橋本康平くん（2年）は「今日で4回目。いざというときは勉強したことを生かして、倒れた人を助けてあげたいです」と意欲。指導した松岡良治先生は「高齢者と一緒に暮らす生徒も多い。何かあったとき、すぐ動ける生徒になってほしいです」と願っていました。



AED の設置場所

AEDは、機械が操作手順を教えてくれるため、誰でも簡単に使用できます。各地区の学校や医療機関のほか公共施設、福祉施設などに設置されています。

久慈広域連合消防本部HPに設置場所を掲載していますので、ご確認ください。

久慈広域連合消防本部
☎ 53 - 0119

SUPPORT

市と大川目全町内会が協定を締結

町一体で要援護者支援を



地域の支え合い活動に意欲をみせる出席者

大川目町の全15町内会が9月27日、災害時要援護者名簿の共有について、市と個人情報保護に関する協定を締結しました。

市役所で開かれた調印式には大川目町まちづくり協議会の外館孝会長、大川目地区民

生児童委員協議会の山口満会長など18人が出席。町を代表して外館会長と山口会長、そして山内隆文市長の3人が協定書に調印しました。

調印を終えて、山内市長は「今回の協定で、より支え合いの活動が広がれば」と期待。外館会長と山口会長は「地域では高齢者だけの世帯も増えています。普段から見守りや声掛けをし、支え合うまちづくりに取り組みでいきます」と抱負を述べました。

町一体となつて同協定を締結するのは待浜町に続き2例目。今回で同協定を締結したのは33町内会になりました。災害時など、いざというとき特に必要になる地域での支え合い。今後、取り組みのさらなる広がりが期待されます。

SCHOOL

久慈小に茨城県同名校から応援メッセージ

励まし合って一歩前



日立市から届いた応援の横断幕に、笑顔で喜ぶ久慈小児童

10月17日、久慈小学校（大苧賢一校長・児童701人）に、茨城県日立市の久慈町にある久慈小学校から、復興応援メッセージが届きました。

東日本大震災により日立市の久慈小児童も住宅などに被害。被災地同士、同じ校名で

あることが縁となり、交流が実現しました。

同日は日立市の久慈小・久慈中の保護者と地域住民で構成する久慈地区青少年育成会の山縣彰徳会長と川上一夫副会長が訪問。全校児童を前に、お互いに頑張ろうとの思いが込められた、日立市の子どもたちのメッセージ映像と横断幕、千羽鶴を披露しました。

児童を代表し、中井美智さん（久慈小6年）は「元気をたくさんもらいました。これからも励まし合い、元気に生活していきましょう」とお礼。続いて全校児童で校歌を合唱し、エールを返しました。

山縣会長は「今回の交流が、子どもたちの元気と、お互いに一歩前に進むきっかけになれば」と願っていました。

ACTIVITY

わたしの主張県大会などで市内生徒が続々入賞

秋も文化・スポーツで大活躍！



第11回全国障害者スポーツ大会出場男子100m第3位

中森優弥くん
（久慈拓陽支援学校高等部2年）

ずっと出場したかった全国大会。ふさわしい選手になれるよう普段の生活も練習も頑張ってきました。目標とする先輩の記録を更新できてうれしいです！



第58回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール県大会最優秀賞

鹿糠冴俊くん
（久慈東高校3年）

日本と国際連合の災害対応のあり方などについて、自分の考えを訴えました。多くを考えさせられた大震災。普段からの備えと対策が必要だと思います。



第13回わたしの主張県大会優秀賞

小田優斗くん
（宇部中3年）

「みんなに笑顔の心を届けたい」という自分の思いを精一杯伝えようと頑張りました。これからは笑顔を忘れず、普段の生活から頑張っていきたいです！

夏に続き、秋も生徒たちが県大会などで大活躍！

9月22日、滝沢村で開かれた第13回わたしの主張県大会では、久慈地区代表で小田優斗くん（宇部中3年）が出場。地区大会同様、見事なスピーチで優秀賞を獲得しました。

同日、盛岡市で開かれた第58回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール県大会（兼県高校総合文化祭弁論部門）では鹿糠冴俊くん

（久慈東高3年）が最優秀賞。10月24日に東京都で開かれた中央大会でも熱弁しました。

また久慈拓陽支援学校高等部の中森優弥くん（2年）は、競技記録や生活態度などが評価され、第11回全国障害者スポーツ大会の本県代表に選出。10月22日、24日に山口県で開かれた同大会では男子100m、200m、男女混合リレーの3種目に出場し、100mで第3位に入賞しました。

NPO

からふるきつずをNPO法人に認証

障がい、支えと療育の充実を



団体の概要

- 代表者 繁名桂子代表
- 会員数 10人
- 事業内容

障がいがある小学生以下の子どもの成長を促す児童デイサービス事業を柱として、家族などを対象とした相談、地域との交流活動などを来年度から実施予定。

今後の活動や入会の問い合わせなどは下記アドレスへ気軽にお寄せください。

■ info@colorful-kids.com

発達障がいに対する正しい理解を広めるために活動している「久慈・子どもと成長する親の会からふる（細越郁美会長）」の会員が中心となり、活動の活性化を目指して「からふるきつず（繁名桂子代表）」を設立。申請を受けた市は、同団体を市内12番目の特定非営利活動法人（NPO法人）に認証することを決定し、10月18日、市役所で認証書交付式を行いました。

同団体から3人が出席。認証書交付後、山内隆文市長は「悩みや課題は尽きないと思いますが、今回の認証が前進する大きな一歩になることを期待します」と激励しました。

繁名代表は「障がいがある人が一人として、地域の中で当たり前の暮らしができる地域づくりを目指していきます」と決意。

「今後の活動を通し、障がいがある子が地域とふれあえる機会を提供していきたいです」と意欲をみせていました。

同団体は来年度から本格的に事業を展開予定。障がいがある子どもへの支えと療育の充実が期待されます。



今後の活動にみなぎる意欲。右から2人目が繁名代表

久慈市成人式

開催日時など

1.8日 14時～

▶会場…アンバーホール
▶対象…平成3年4月2日～平成4年4月1日までに生まれた人

■市内に住居登録している対象者には12月上旬にハガキでご案内します。
■市外にお住まいの方で、参加を希望する場合は、12月15日(木)までに社会文化課にご連絡ください。

成人式を自分たちの手で！
実行委員を募集

曲の選定など成人式の企画運営に携わる実行委員を募集します。思い出に残る記念事業を自分たちの手で作りあげてみませんか。

応募資格

次のすべてに該当する人
①平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ
②実行委員会議と成人式に参加できる人
※会議は11月中旬から12月まで4回程度開催(夜間)

申込方法

11月10日(木)までに電話かFAXで社会文化課に申し込みください。
FAXの場合は「成人式実行委員希望」と明記し、住所・氏名・生年月日・電話番号・職業(学生は学校名)も記入して送信ください。

☎社会文化課 ☎ 52-2700
FAX52-2730

ジオパークに関する復興座談会を開催

GEOPARK

地形・地質の観光活用に 意見交わす



イメージ・侍浜地区の海岸線

ジオパーク概要

ジオパークとは、重要性や美しさがある地質遺産を含む「大地の公園」。9月末現在、日本ジオパークに20地域が認定、うち5地域が世界で認定され、地域活性化にも貢献しています。
岩手県も世界ジオパーク認定を目指し、いわて三陸ジオパーク研究会を昨年3月に設立。市も独自に調査を行うなど、ジオパーク推進に取り組んでいます。



観光関係者など約50人が出席

市は9月28日、ジオパークと観光再生をテーマにした復興座談会をやませ土風館で開催。一種の自然公園であるジオパークについて説明し、観光への活用方法について出席者と意見を交わしました。
はじめに市産業振興部の下館満吉部長が「奇岩怪石が連なる海岸線や山々をもっと観光に活用したいと思います。皆さんの意見をお願いします。」とあいさつしました。

説明は、市の田高正博ジオパーク研究員が担当。全国の事例や市内の地形・地質などを紹介しながら、「大地には太古のドラマが秘められています。組み合わせ方しだいで、観光の魅力を高めることができます」とジオパークの可能性を述べました。
その後は意見交換。出席者からは、普及に向けた人材育成や学習機会の提供など、さまざまな意見が出されました。近年、注目が集まりつつあるジオパーク。市は今後も活用方法などの研究を進めます。



丁寧に説明する田高研究員

岩手県算数数学研究大会を久慈で開催

EDUCATION

学習能力向上に向けて研究深める



講師の笠井氏

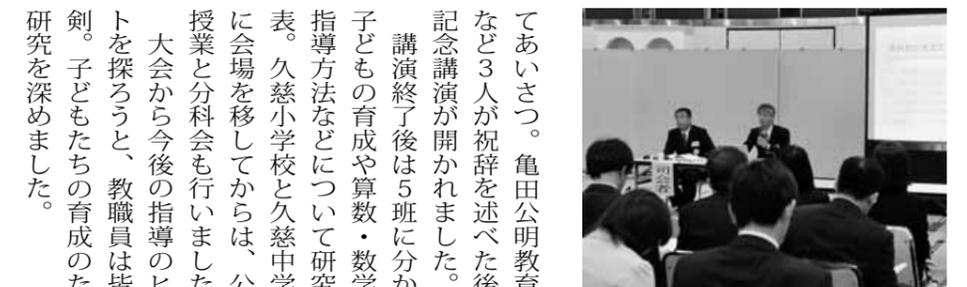
記念講演

文部科学省教科調査官の笠井健一氏が「算数・数学科における言語活動の充実」と題して記念講演。笠井氏は「子どもたちの考える力や表現力を伸ばすため、授業では読み書きと会話も大切に、子どもたちが考えを深められるようにすることが必要です」と訴え。授業で実践しやすいようにと、指導のポイントや指導例も紹介しました。



あいさつする宇部委員長

小・中学校の教職員が授業の充実と、子どもたちの学習能力向上に向けて研究する第52回岩手県算数研究大会・第43回同数学研究大会は10月14日、市内催事場で開かれました。同大会が久慈市で開催するのは平成5年以来18年ぶり。久慈地区を中心に県内各地から約250人が集まりました。大会実行委員会の宇部澄男委員長(久慈中学校校長)は「算数・数学の学力向上は当地区でも課題の一つ。この研究大会を今後の授業に役立たせたいと思います」と力を込めました。



研究発表では授業での工夫や指導成果を説明

てあいさつ。亀田公明教育長など3人が祝辞を述べた後は、記念講演が開かれました。講演終了後は5班に分かれ、子どもの育成や算数・数学の指導方法などについて研究発表。久慈小学校と久慈中学校に会場を移してからは、公開授業と分科会も行いました。大会から今後の指導のヒントを探ろうと、教職員は皆真剣。子どもたちの育成のため、研究を深めました。

子ども手当 申請忘れずに

☎子育て支援課 ☎ 52-2169

【対象になる年齢と手当月額】

年齢	月額
3歳未満	1万5,000円
3歳以上と小学生	1万円 ※第3子以降の場合は1万5,000円
中学生	1万円

＜次の場合は15日以内に＞

次の場合は15日以内に届け出ください。①子どもが生まれたとき②公務員になったとき、公務員でなくなったとき③市外に引っ越したとき(申請先は新しい住所地)

【手当の支給時期】

支給時期	内訳
平成24年2月	10月～平成24年1月の4カ月分
平成24年6月	平成24年2月～3月の2カ月分

＜2月受給は早めに申請を＞

平成24年2月に手当を受給するには、1月13日(金)までに申請が必要です。それ以降に申請を受けた分は、平成24年6月に支給します。

10月～来年3月分の子ども手当は、新しい法律により支給額など変更になりました。手当を受給するには、申請が必要で、対象になるお子さんを持つ全ての人に申請書などをお送りしますので、忘れずに申請してください。
▼申請方法
必要書類を添え、市役所1階・子育て支援課に申請してください(山形町の人は山形総合支所でも申請可)

▼必要書類など
①印鑑②請求書(お知らせに同封)③受給者本人と対象になる子どもの健康被保険者証(コピー可)④手当振込先の通帳(銀行名、支店名、口座名義、番号が分かる部分のコピー可)
※必要に応じて追加提出あり
▼申込期限
来年3月31日まで。期間内に申請すれば、10月分の手当から支給されます

健診と各種がん検診の日程

☎保健推進課 ☎ 61-3315

【健診・検診の日程】

※社会保険など国保以外の健康保険の被扶養者で、市町村の日程で特定健診を受けられると通知があった人も受けられます(受診券と保険証を持参)

日	会場
11/15(火)	9:30～11:30 山根支所
11/16(水)	宇部支所
11/17(木)・18(金)	小久慈公民館
11/21(月)・22(火)	大川目公民館
11/24(木)	サンエール
11/25(金)・26(土)	元気の泉
11/28(月)	サンエール
11/29(火)	農村環境改善センター
11/30(水)	① 9:30～11:30 農村環境改善センター ② 13:30～15:00 侍浜公民館
12/1(木)	侍浜公民館
12/2(金)～9(金)	元気の泉 ※12/7(水)のみ14:00～15:30と17:00～18:30

▶受付時間…9:30～11:30、13:00～14:30
※上表に表示しているもの以外の時間です

特定健診等と各種がん検診を実施。健康状態を確認するため忘れずに受診しましょう。
※次の①は対象、②は受診料
▼国民健康保険特定健診
①40歳～75歳未満の国保加入者②無料○問診票と受診券、保険証を持参
▼後期高齢者健診
①後期高齢者医療保険制度の加入者②無料(一部、受

診料が発生する場合あり)
○問診票と保険証を持参
▼肺がん検診
①40歳以上②5000円
▼大腸がん検診
①40歳以上②4000円
▼前立腺がん検診
①50歳以上②4500円
●いずれの健診・検診も、70歳以上、住民税の非課税世帯、生活保護世帯、は受診料無料

DATA

■表1 / 久慈市のごみ排出量

年度	排出量	1人1日当たり ※()内は生活系のみ
18	1万5,463ト	1,058㌔ (720)
19	1万4,675ト	1,016㌔ (705)
20	1万4,372ト	1,009㌔ (718)
21	1万4,053ト	998㌔ (699)
22	1万3,921ト	998㌔ (697)

■表2 / ごみ排出量が多い市町村

順位	市町村名	1人1日当たり 生活系ごみ
1	大槌町	788㌔
8	久慈市	699㌔
35	金ヶ崎町	396㌔

※平成21年度数値・全35市町村

■表3 / 久慈市の資源化量

年度	資源化量	1人当たり
18	1,791ト	44.7㌔
19	1,678ト	42.5㌔
20	1,645ト	42.1㌔
21	1,634ト	42.3㌔
22	1,491ト	39.0㌔

■表4 / 資源化量が少ない市町村

順位	市町村名	年間1人当たり
1	九戸村	23.2㌔
9	久慈市	42.3㌔
35	滝沢村	112.6㌔

※平成21年度数値・全35市町村

このままでは多大な負担 状況は深刻

ごみ多く量は横ばい

生活の中で、私たちが必ず捨てる「ごみ」。自分が毎日どの程度捨てているかは、なかなか分からないものですが、実は久慈市の状況は深刻です。左の表をご覧ください。人口減少に伴い、年間のごみ排出量は減少傾向にありますが、1人1日当たりの量は横ばい状態（表1）。平成22年度は1人当たり毎日998㌔、各家庭の生活系ごみに限定しても毎日697㌔も捨てた計算になります。県内で比較すると久慈市はワースト8位（表2）。残念なことに、久慈市はごみが多いまちなのです。

減少傾向の資源化量

さらに久慈市は缶などの資



粗大ごみ処理場の状況
上/資源物が大量に混入した燃えないごみ 下/現場では頭を悩ませながら作業

源化も遅れ気味です。リサイクルやエコなどの言葉が浸透する一方、年間の資源化量は増えるばかりか減少傾向（表3）。年間1人当たりの42.3㌔は県内で9番目に少なく、最も多い滝沢村（112.6㌔）の3分の1程度しかありません（表4）。

処理、建設で負担大

ごみが多く、資源化量が少ない久慈市のごみ処理費用は年間3億円以上。これだけでも大きな負担ですが、数年後さらに大きな費用の負担が見込まれています。

久慈市を含む岩手県北8市町村は岩手北部広域環境組合を設立し、ごみ処理の効率化に向けて共同の焼却場や処理場などの建設計画を進めています。（平成30年度稼働予定）建設費用約92億円は8市町村で負担し合いますが、負担割合は平成19〜24年度のごみ排出量を基に計算。ごみが多い市町村が、より多くの費用を負担することになっています。人口の関係もありますが、久慈市の排出量は県北8市町村の中で最も多く、2番目に多い二戸市と比べても約1.2倍。久慈市はこのままだと約20億円もの建設費用を負担する計算になります。

基準となる平成24年度末まで、残すはわずか1年5カ月。量が減らず、資源化も進まない久慈市のごみ事情は、切迫した状況です。

ごみ事情、切迫

年間3億円以上をごみ処理に使っている久慈市。ごみの量は減らず、資源化も進まない久慈市には費用という大きな負担がのしかかり、切迫した状況に陥っています。この問題を解決するための鍵

は一人一人の意識と行動です。今、皆さんと一緒に考えてほしいこと。今回は、久慈市のごみ事情の深刻さや問題点、そして現状打開に向けた対策をお知らせします。（15ページまで）

■生活環境課 ☎54-8003



上の写真は、ある地区のごみステーションです。撮影したのは収集日当日ではありませんが、ステーションの中には燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみであふれんばかり。しっかり分別しているかどうかも怪しまれる、この状況が、久慈市のごみ事情の深刻さを物語っているように感じられます



久慈地区ごみ焼却場
中塩雅彦 所長

最低限のルールとマナーを

人口減の関係もあり、ごみの量は減少傾向ですが、今も燃えないごみの混入が多々あります。混入は設備の故障や事故の原因になるだけでなく、有毒な物質を発生させる恐れがあります。ごみを出す側の最低限のルールとマナーを守ってほしいです。

ごみ事情 現場からの指摘

資源物混入 悪質なケースも

燃えないごみに混入している資源物の量は全体の1割以上。年間で100ト以上になるかもしれません。本当にもったいないことです。袋に入れて隠すなど悪質なケースも。ここ10年で考えて久慈市の分別は悪くなっている気がしますね。



久慈地区粗大ごみ処理場
田中善春 総括責任者

今日からできる2つの対策

生ごみ"きって"減量化!

ごみ全体の24.7%は家庭から出る生ごみです。割合が大きい理由の一つは、生ごみは水分を多く含んでいて重いから。80%が水分なので、水気を切ってから捨てるだけで大幅に減量することができます。また日本全体では、生ごみの4分の1が食べ残しや

手付かずの食品だといわれています。食品は必要だけ買い、無駄なく調理することが大切です。そして料理は食べること、食べきれないときはお弁当にしたり、冷凍保存して使いきることも忘れてはいけません。「もったいない」の心で生ごみを減らしていきましょう。

POINT!

生ごみ減らす3つの「きる」



1 水気をきる

生ごみは捨てる前に一絞り! 野菜の皮は洗う前にむきましょう。



2 使いきる

食材は買すぎない! 食材を無駄なく調理して生ごみを減らしましょう。



3 食べきる

料理は作りすぎない! 余った場合はお弁当にしたり冷凍保存しましょう。

減らす

分別の"徹底で"資源化!

回収された資源物はリサイクルされるだけでなく、久慈市の収入になり、ごみ処理経費として使われます。分別の徹底は、資源化量を増やすだけでなく、ごみ処理経費も節約することになるのです。

しかし現状は資源物として回収された量よりも、他のごみに混入した量の方が多くなっています。分別は意識するだけで今すぐできることです。次の表を参考に、しっかりと分別して排出しましょう。

POINT!

分け方出し方



	資源物	燃えるごみ	燃えないごみ
缶類	飲料用の缶(アルミ・スチール)	—	飲料用以外の缶(缶詰め、スプレーなど)
びん類	飲料用のびん ※ふたは取る	—	飲料用以外のびん(調味料、油、化粧品など)
ペットボトル	ジュース・しょう油・ノンオイルドレッシングのペットボトル	油や油を使用した調味料のペットボトル、キャップ	
紙類	新聞紙、段ボール、雑誌、紙パック	資源物以外	
発泡・トレー	魚箱などの発泡スチロール、食品用トレー	電化製品の梱包用の緩衝材	

※資源物に分類されるものでも、汚れがひどい場合は「燃えるごみ」「燃えないごみ」として排出してください

分ける

捨てれば捨てるほど、ごみを処理するために負担する金額は増えていきます。「自分くらい別にいいだろう」などと考え、分別もせずに大量のごみを捨てている人もいることでしょう。確かに1回の影響は小さいものですが、しかしその積み重ねが深刻で切迫したごみ事情を生んでいることを忘れてはいけません。年間3億円以上の処理費用も、今後負担することになる県北地区の共同施設建設費用も、皆さんから納めていただいた税金などが基になります。ごみは捨ててしまえば関係ないと思いがちですが、決してそんなことはありません。費用の負担という問題は、ごみを捨てる私たち一人一人と密接に関わっているのです。問題解決の鍵を握るのは一人一人の意識です。上の2つの対策はすぐにできることばかり。行動すれば状況は必ず変わります。皆さん、今日から行動に移してみませんか。

問題解決の鍵は一人一人の意識

DATA

■表/久慈市のごみの内訳推計

区分	排出量	割合
生ごみ	3,469ト	24.7%
プラスチック類	697ト	5.0%
紙類	690ト	4.9%
その他の燃えるごみ	1,789ト	12.7%
燃えるごみ中の資源物	1,277ト	9.1%
燃えないごみ	536ト	3.8%
燃えないごみ中の資源物	189ト	1.3%
資源物	1,204ト	8.6%
燃えるごみ	2,110ト	15.0%
生ごみ	1,671ト	11.9%
燃えないごみ	155ト	1.1%
資源物	264ト	1.9%
合計	1万4,051ト	100.0%

※平成20~22年度調査結果まとめ

減量・資源化へ新規事業も 打開に懸命

調査で課題が明確に

ごみの減量と資源化に向けた対策を練るため、市は平成20年度から岩手大学と共同で組成率調査を開始。3年にわたって細かく調査し、ごみの内訳を明らかにしました。左表をご覧ください。圧倒的に多いものは生ごみです。私たちが捨てている調理くずや食べ残しなどが全体の24.7%を占めています。水分を多く含んでいるため、重くなりやすい生ごみ。調査結果から「生ごみの水分を切る」、「生ごみ自体を減らす」という課題が明確になりました。また他のごみに混入している資源物の多さも判明。燃えるごみ・燃えないごみに混入した資源物は計10.4%で、

分別して出された資源ごみも上。「分別徹底」という課題も、はっきりと数字に表れました。生ごみ減と分別に力

調査結果を受け、市は本年度から家庭用生ごみ処理機購入に対する補助率を4分の3に大幅拡充(平成22年度までは3分の1)。水を切ったから捨てるなど、処理上の注意点も周知し、生ごみの重点的な減量に力を入れています。分別については、集団で行う回収活動に補助金を交付する資源物集団回収支援事業(下枠)を7月から導入。資源化量を少しでも増やしていくため、来年度からプラスチック類を資源物として回収することも検討しています。モデル地区として、9月からプラスチック類を分別している門前地区の平谷政勝2区衛生班長は印象を語ります。

「実際にやってみると、分別は苦になるものではありません。ただ住民全体には浸透しきっていない気がします。プラスチックに限らず、ごみ問題の解決に必要なのは個人の意識改革。強く訴え続ける



ごみに対する意識改革の必要性を強く訴える平谷さん

地域の中から啓発も

ごみに対する意識改革を進めるため啓発活動の強化が必要と考えた市は、衛生班長をサポートし、地域の中から減量と資源化を呼びかける「ごみ減量推進員」を本年度から配置。9月28日、市役所で委嘱状交付式を行い、地区ごとに計148人を委嘱しました。活動に意欲をみなぎらせる推進員。現状の打開に向けて、行政も地域も懸命です。両者は今後、団結を一層強め、減量と資源化に取り組みます。



推進員148人を代表し、委嘱状を受けた松葉千代喜さん。問題解決に向け、行政と地域が団結を強めました

Information

資源回収に補助金活動団体募集中!

資源物集団回収支援事業

☎生活環境課 ☎54-8003

市は、分別の意識を高め、資源化を促すため、7月から「資源物集団回収支援事業」をスタートしました。この事業は、子ども会や老人クラブなどが行う資源物の回収活動に補助金を交付するものです。現在、活動団体を募集中。活動の実施前に申し込みください。

▶対象団体…営利目的以外で活動する団体が対象になります

▶対象になる活動…排出から搬入までを行う活動が対象になります。例…①活動団体が設定した日時に合わせて、各家庭が資源物を排出②活動団体が資源物を回収③活動団体が資源化業者に搬入

対象品目	補助単価
アルミ缶	20円/キロ
スチール缶、新聞紙、雑誌	5円/キロ

平成 23 年度予算の進み具合

※ 9月30日現在。金額は平成22年度繰越明許費と事故繰り越しを含むもので、1万円未満は四捨五入しています

■一般会計

歳入名	予算額	収入額	執行率
市税	36億5,173万円	23億3,968万円	64.1%
地方交付税	69億3,166万円	60億6,912万円	87.6%
国庫支出金	32億7,834万円	28億5,083万円	87.0%
県支出金	25億1,585万円	2億1,556万円	8.6%
市債	34億7,885万円	0万円	0%
その他	27億2,715万円	15億1,727万円	55.6%
合計	225億8,358万円	129億9,246万円	57.5%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	32億7,690万円	12億3,268万円	37.6%
民生費	58億2,815万円	28億7,543万円	40.8%
農林水産業費	13億9,712万円	2億8,843万円	20.6%
土木費	21億1,967万円	5億2,919万円	25.0%
教育費	26億7,883万円	8億531万円	30.1%
公債費	28億2,271万円	13億8,518万円	49.1%
その他	44億6,020万円	17億4,376万円	39.1%
合計	225億8,358万円	83億6,016万円	37.0%

■特別会計

会計名	予算額	支出額	執行率
土地取得事業	2,279万円	1,145万円	50.2%
国保(事業勘定)	44億8,907万円	17億4,426万円	38.9%
国保(直診勘定)	2億7,310万円	1億1,026万円	40.4%
後期高齢者医療	2億5,642万円	5,075万円	19.8%
介護サービス事業	9,214万円	3,147万円	34.2%
魚市場事業	4億4,865万円	4,566万円	10.2%
漁業集落排水事業	5億2,232万円	2億7,990万円	53.6%
公共下水道事業	18億2,210万円	5億9,019万円	32.4%
合計	79億2,659万円	28億6,394万円	36.1%

■企業会計・水道事業会計

区分	予算額	支出額	執行率
収益的支出	8億2,933万円	1億7,904万円	21.6%
資本的支出	4億4,716万円	1億4,026万円	31.4%

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

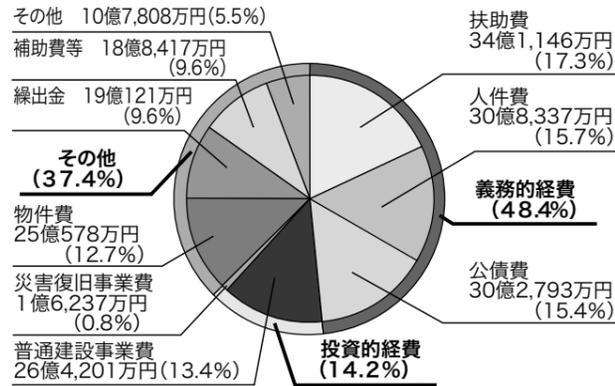
【収入の関係】

- ▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するため国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています
- ▶国庫支出金…国と地方が協力して行う公共事業や社会保障、教育などの財源に充てるため、国が支出するお金です

【支出の関係】

- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶総務費…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するために使うお金
- ▶商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶消防費…消防や災害対策などのために使うお金

一般会計歳出・性質別



特別会計

会計名	収入額	支出額	差引額
土地取得事業	2,338万円	2,338万円	0万円
国保(事業勘定)	42億791万円	41億8,206万円	2,585万円
国保(直診勘定)	2億6,491万円	2億6,491万円	0万円
老人保健	130万円	130万円	0万円
後期高齢者医療	2億4,989万円	2億4,978万円	11万円
介護サービス事業	8,242万円	8,242万円	0万円
魚市場事業	2,885万円	2,885万円	0万円
漁業集落排水事業	2億3,887万円	2億3,133万円	754万円
公共下水道事業	10億6,601万円	10億4,946万円	1,655万円
合計	61億6,354万円	61億1,349万円	5,005万円

企業会計 水道事業会計

区分	収入額(税込)	支出額(税込)
収益的収支	6億9,286万円	6億6,877万円
資本的収支	3億9,976万円	5億3,749万円

営企業会計」の2つの会計があります。

市の特別会計は、国民健康保険や公共下水道、後期高齢者医療など8会計。収入の合計は61億6,354万円、支出の合計は61億1,349万円です。全体で見ると5,005万円の黒字になりました。

市の公営企業会計は、水道事業会計の1会計です。皆さんから納めていただく水道料金を主な収入として、水道施設を維持管理するための収益的収支(消費税を含む)は、収入が6億9,286万円、支出が6億6,877万円でした。

財政の健全化を実行中!

■実質公債費比率 15.8% (県内の市平均 14.7%・久慈市 21年度 16.0%)

これは、毎年続けて入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。この数値が18%を超えると、自由にお金を借りることができなくなります。

■経常収支比率 80.2% (県内の市平均 84.2%・久慈市 21年度 84.3%)

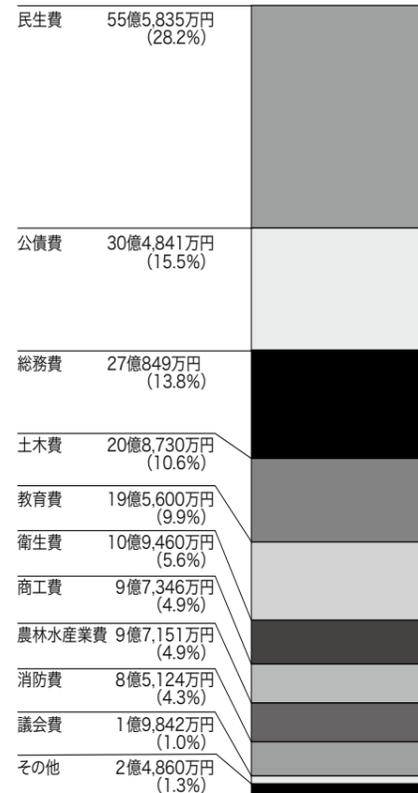
これは、市が毎年定期的に支払う人件費などの経費を、毎年続けて入ってくる市税など使い方に制限がない財源で割った数値です。この数値が80%を超えると財政は苦しいといわれています。

※両比率の「平成22年度県内の市平均」は、陸前高田市を除く12市の平均値です

6億9,516万円
黒字

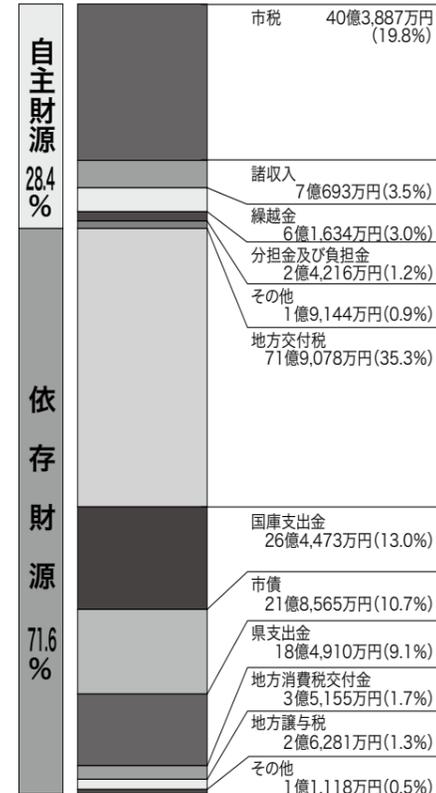
一般会計歳出

196億9,638万円



一般会計歳入

203億9,154万円



平成 22 年度

決算

財政局課 52 - 2113

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。平成22年度も貴重なお金を有効に使えるよう、やりくりしました。今回は9月の定例市議会にて認定された平成22年度の決算のあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

大半を国に依存

「一般会計」は、市の基本・中心となる仕事のための会計です。平成22年度の一般会計決算は歳入(収入)が203億9,154万円、歳出(支出)が196億9,638万円、6億9,516万円の黒字になりました。

歳入で最も多いのは、国から配分された地方交付税の71億9,078万円。歳入を財源別に見ても、地方交付税などの依存財源が71.6%を占めており、財源の大半を国や県からのお金に頼っている状況となっています。

これに対して市税などの自主財源は28.4%となっています。自主財源が多いほど市政運営の自主性と安定性が確保できますので、健全な財政

節約しやり繰り

歳出では、子ども手当により民生費が、久慈広域連合負担金により衛生費が、前年度に比べて増えました。

主要な事業には重点的に財源を充てながら、市政改革プログラムに基づき、事業の見直しと経費の節約を図り、貴重な財源を全体でやり繰りしました。

特別会計も黒字

市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公





広報リポーターの突撃取材!



山根中出身の林崎優也選手(盛岡中央高2年・左)

感謝の心で
選手が活躍

県高校新人柔道大会は10月21日と22日に花巻市で開催。個人戦では本市関係選手計16人が各階級のベスト4に進出し大活躍しました。震災を乗り越え、柔道ができる環境に感謝する選手たち。駆けつけた父母らは応援に声をからしていました。(小倉利之リポーター)



真剣に受講する待浜地区の漁業者の皆さん

海上の安全
真剣に学ぶ

ふるさと体験学習協会は10月18日、海上安全講習会を待浜支所で開催。講師の海上保安官は、AEDの使い方や津波襲来時の船の避難法、ロープによる縄ばしごの作製法などを指導。約20人が現場で生きる知識と技術を真剣に学びました。(梅沢政隆リポーター)

祝福喜び 満面に笑み

大港ツルさんが100歳に

特別養護老人ホームぎんたらず久慈に入所している大港ツルさんが10月10日で100歳に。10月12日、他の入所者や施設職員が見守る中、同所で長寿祝いが開かれました。

山内隆文市長はお祝い状を贈り、「おめでとうございます。これからも元気に健やかに過ごしてください」と祝福。大港さんは「ありがたさがいっぱいです。皆さん本当にありがとうございます」と満面に笑み。何度も手を合わせて喜んでいました。

若いころは病弱だったという大港さん。好き嫌いせずに食べ、無理しすぎずに生活してきたことが長寿につながったようです。



お祝い状を手に、満面に笑みを広げる大港さん



- 1/タマネギ詰め放題。大地の恵みにニッコリ
- 2/久慈港で揚がった新鮮サンマも格安で販売
- 3/短角牛べこ汁の試食は人気を集め大行列!
- 4/各種体験教室も好評



カボチャ計量クイズ
正解は33.4%!
応募総数362通のうち、正解に近かった17人に記念品をお贈りします。

「カギかけて」と一生懸命 地域安全運動街頭啓発

全国地域安全運動(10月11日-20日)期間中の10月18日、ちびっこ防犯隊員に任命された畑田保育園の園児4人が関係者60人と一緒に街頭啓発を実施しました。

かわいらしい隊員は、市日の出店者やお客さんに進んでチラシなどを配り、「家や車にカギをかけてね」と一生懸命呼びかけました。



防犯隊員を務めた(左から)下道優雅くん、小田菜鈴ちゃん、藤森煌太朗くん、小田彩乃ちゃん



「ユメノマチ」づくりに、みんなが夢中

希望込めたユメノマチ 県美あーとキャラバン

岩手県立美術館あーとキャラバンinくじは10月16日、待浜公民館と中央公民館で開催。親子など約50人が積み木を組み合わせて建物や乗り物を作り、希望を込めた「ユメノマチ」を完成させました。濱田爽也くん(長内小1年)は「おもしろい!電車が一番上手にできた!」と夢中になっていました。

垣根越え"遊び"で交流 第2回つぎまり野球

第2回全日本つぎまり野球選手権大会(久慈青年会議所主催)は10月9日、久慈総合運動場で開催。市内外から15チーム約150人が参加し、年齢や職場の垣根を越え"遊び"で交流を深めました。

当日は青空が広がる絶好の野球日和。好・珍プレーのたび歓声で沸き、大会は大盛り上がりでした。



大人も童心に帰ってはつらつプレー



10月10日まで展示した久慈琥珀博物館

夏の思い出 色とりどり 琥珀絵画展

第24回琥珀絵画展(同実行委主催)は夏の思い出をテーマに実施。10月2日の表彰式では、市内小・中学生が描いた474点のうち入賞した50点が表彰されました。海水浴や花火にキャンプなど、色とりどりの思い出は、見る人の心も和ませよう。11月は、美術館あーとびる麦生で特別展示されます。

一流に触れ楽しさ体感 元代表選手が卓球指導

元日本代表の現役選手、木方慎之介さんによる卓球教室は9月27日、小袖小学校で開催されました。木方さんはラケットの握り方など基本から丁寧に指導。児童は一流の技術に触れ、卓球の楽しさを体感しました。大久保航也くん(6年)は「卓球のコツを学べて良かったです」と喜んでいました。



木方さん(右)のラケットさばきに皆くぎ付け



復興に心を一つ。多くの思いが集まりました

復興願い「絆」つくる ふれあい福祉まつり

ふれあい福祉まつりは9月23日、福祉の村で開催。福祉施設の出店や踊りなどのステージ発表、福祉バザーなど、多彩な催しが行われ、終日にぎわいました。会場では、東日本大震災の復興に向けたメッセージも募集。祈りや願いを込めたメッセージで「絆」の形をつくりました。

ふるさとに対する思いや→被災した人たちへのエールが込められたメッセージ



Child 子育て支援センターだより

行事予定

- 11/2(水) 赤ちゃんサロン 13:30~15:30
- 11/5(土) いわて子どもの森キャラバン事業「いのちのおはなしワークショップ」 10:00~11:30 ※募集…親子15組。要申し込み
- 11/9(水) あそびの教室 10:00~17:00 ※対象児が決まっているため自由来所はできません
- 11/10(木) うさこちゃんの部屋 11:00~
- 11/18(金) ひよこ教室 10:00~12:00
- 11/21(月) あそびの教室 10:00~17:00 ※対象児が決まっているため自由来所はできません
- 11/26(土) 男性保育士連「チームファンタジスタショー」10:30~11:30 ※募集…親子50組。要申し込み
- 11/30(水) リフレッシュ講座「七宝焼き」10:00~12:00 ※募集…乳幼児を持つ保護者15組。託児あり。要申し込み

利用案内

オススメの声

- 子育て支援センター ☎52-3210
- 対象…未就学児と保護者
- 利用時間
 - ①月~金 8時30分~17時
 - ②土 8時30分~13時30分
- 休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日
- 利用料…無料

広島から9月に久慈に。知らない土地で不安でしたが、センターの雰囲気も良くて安心。子どもも喜んで遊んでいますよ！



金子 晃子さんと長女の紗智恵ちゃん(門前)

Health 元気応援だより



照井春樹保健師

伸ばすためのコツ
上手に褒めて
子育てを！

保健推進課 ☎61-3315

①褒める基準を下げ、全部で
ごねたり、いたずらしたり、ぐずったり…。親は子どもを叱ることが多くなりがちですが、褒めることは子どもの成長に必要なことです。
親は①お風呂②寝る前③食事④遊びのうち、どれか1つの場面だけでも子どもの行動を褒めてあげましょう。褒めることは子どもを認め、勇気づけることにつながります。また上手に褒めて子どもを伸ばすために、次の3つに気をつけてみましょう。
①褒める基準を下げ、全部で
きなくても、できた部分を褒めてあげましょう。
②人ではなく、行為を褒めましょう。例えば「○○ちゃんよくできたね」ではなく「全部食べられて偉いね」が効果的です。
③行動後すぐに褒めましょう。また毎日ではなく時々褒めることが大切です。大人も褒められるとうれしいのですから、子どももならなおさらです。愛情を込め、たっぷり褒めながら子どもを育てていきましょう。

市の保健師、栄養士、看護師が、健康に関する情報をお届けするコーナーです。皆さんの元気と健康づくりにお役立てください。



Human



食生活改善活動で厚生労働大臣表彰を受賞

衰え知らない意欲と使命感
健康の源。一食一食を大切に—

子どもや地域のため

「驚きと感謝。支えてくれた皆さんのおかげですね」。そう笑顔で話すのは、市食生活改善推進員協議会の初代会長で、今も現役で活動する堀畑アサさん。30年以上にわたる活動と功績が高く評価され、10月14日、厚生労働大臣表彰を受賞しました。活動のきっかけは昭和46年から2年間受講した久慈保健所の栄養教室。知識と人との出会いが、健康づくりに向けた意欲と使命感を生み出した。

立ち上げた自主グループの活動を経て昭和53年に同会を結成。豊富な知識とリーダーシップで活動をけん引しました。「子どもや地域の健康のため」と思い、夢中になって栄養教室や健康相談などを開いてきました。苦労もありましたが、それが私を成長させてくれたと思っています。今も栄養教室などに参加し続ける堀畑さん。その意欲と使命感は衰えを知りません。

普段の食事を大切に

86歳になった今も大きな病気がなく、健康を願っています。私に家族の健康を願う料理をしてきました。食事は健康の源です。家での普段の食事を大切にしたいですね。まちの健康を願う続ける堀畑さん。その優しい笑顔はとても輝いてみえました。



優しい笑顔を広げる堀畑さん

堀畑アサさん (田屋町・86歳)

Profile 二十八日町生まれ。市の食生活改善活動をけん引。昭和60年には我が家の食卓コンクールで最優秀賞も受賞した。民生委員としても長年活動。

MY ★ Life ☎ Kuji



ジョン・パリシュさん

力をくれた、おじいさんの言葉

日本に来てから1年半。楽しい経験もし、たくさん挑戦もしてきましたが、最初は慣れないことや、つらいことが多く、すぐ落ち込みがちでした。

そんなとき僕に力をくれたアメリカのおじいさんの言葉があります。「全力

を出し、一生懸命やったなら自分に失望することはない」。この言葉を思い出してから、物事が思い通りに行かなくても自分が一生懸命やったことを誇りに思い、自信にすることができました。この言葉が久慈市の皆さんにも力を与えられればうれしいです。

市内の小・中学校で英語を教えている市の英語指導手の皆さんが、久慈市で生活して感じたことなどを紹介するコーナーです。

Books 図書館だより

《市立図書館》

「おはなししましよ」

谷川俊太郎/文 元永定正/絵
福音館書店
会話は、耳で聞くことはできても、目には見えないもの。でも、そこに吹き出しと詩が加わると…。会話の内容が目に見えてくるような、とてもかわいらしく楽しい絵本です。



《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館時間…9時~19時(土日は17時まで)
- 11月の休館日…4(金)、7(月)、14(月)、21(月)、24(木)、28(月)、30(水)
- 企画展・地球と生物多様性…開催中11/13(日)まで
- むかしはなしを聞く会…11/5(土)14時~
- 図書館映画会…11/12(土)①10時~②15時~
- チビッコの部屋…11/12(土)・26(土)14時~

利用案内

《山形図書館》

「四つ話のクローバー」

水野敬也/著 文響社
四つ葉のクローバーを見つけた人には幸運が訪れるという伝説があります。この本は幸せになる方法をテーマにした短編集。読んだ後、心が温かくなるような4つの物語を収録しています。



《山形図書館 ☎72-3711》

- 開館時間…10時~18時
- 11月の休館日…3(木・祝)、7(月)、14(月)、21(月)、23(水・祝)、28(月)、30(水)
- 企画展・今から始める冬たくの本…これからの寒〜い冬に向けて、生活に役立つ本を展示・貸し出し。ぜひご利用ください。 11/9(水)~27(日)

オススメ図書

暮らしの暮情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からつながります

お知らせ

命と財産のため防火対策を

11月9日(木)～15日(水)、秋の全国火災予防運動を実施します。期間中は事業所などへの立ち入り検査や家庭への防火指導を行います。

火災から命と財産を守るためには防火対策が必要です。各家庭で次の備えをしましょう。

- ①住宅用火災警報器を設置!
- ②寝具やカーテンなどに防災品を使用!
- ③住宅用消火器などを配置!
- ④隣近所の協力体制をつくる!

☎久慈消防署 ☎53-0119

11月は「ねんきん月間」

日本年金機構では、国民年金保険料の未納がある人に11月～12月に納付書を送付し、委託業者と連携して電話での督促や戸別訪問などを行います。未納分がある人は、お早めに納付ください。

☎二戸年金事務所 ☎0195-23-4111

11月の予防接種臨時日程のお知らせ

- 下記日時で受付・接種いたします(予約不要)
- 予防接種のみの受付です(一般診療はありません)
- インフルエンザワクチン以外の予防接種もいたします

①11月3日(木曜祝日)	午前9時～午後12時まで
②11月12日(土曜日)	午後2時半～午後5時まで
③11月13日(日曜日)	午前9時～午後12時まで
④11月19日(土曜日)	午後2時半～午後5時まで
⑤11月23日(水曜祝日)	午前9時～午後12時まで
⑥11月26日(土曜日)	午後2時半～午後5時まで

※12月の予定は後日お知らせいたします。
※上記以外の平日でも予防接種はしております。

ちだ医院 小児科・アレルギー科・内科
久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

三世将棋教室
☎中央公民館 ☎53-4606

11月12日(土)13時～15時まで、中央公民館で開催。対象は市内の小学生と一般です。プロ棋士が指導します。申し込みは11月9日(水)まで。

労働保険忘れずに加入を

11月は労働保険適用促進強化期間です。労働者を1人でも雇っている全ての事業主(農林水産業の一部を除く)は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。労働者の福祉向上と雇用安定を図るため、忘れずにご加入ください。

☎ハローワーク久慈 ☎53-3374

渡り鳥などの接触控えて

渡り鳥などの野生動物に餌を与えたり、飛来地などにゴミを放置すると、生態系などに悪い影響を及ぼす場合があります。また餌付けや接触することによって、野生動物が持つ病原体が広がる恐れもあります。

保護のための餌付けなど特別な場合を除き、野生動物への接触は控えるよう、ご理解をお願いします。

☎林業水産課 ☎52-2122

文化祭「拓陽祭」を開催

ステージ発表や作品展示、作業製品の販売などを行います。ご来校をお待ちしています。

▶日時…11月26日(土)9時～15時

▶会場…久慈拓陽支援学校

☎久慈拓陽支援学校 ☎58-3004

都市計画下水道事業の縦覧

市は、久慈都市計画下水道事業(久慈公共下水道)の変更について県知事から認可を受けました。次により関係図書の縦覧を行います。

▶縦覧期間…平成30年3月31日まで

▶縦覧場所…市役所3階・下水道課

☎下水道課 ☎52-2152

被災企業などに資金融資

日本政策金融公庫八戸支店では、東日本大震災で被害を受けた中小企業者向けの事業資金や、教育資金を融資しています。対象や利率など、詳しくはお問い合わせください。

	融資上限額	返済期間
事業資金	4,800万円	①運転資金8年以内 ②設備資金15年以内
※震災セーフティネット関連		
教育資金	300万円	15年以内

☎日本政策金融公庫八戸支店 ☎0178-22-6274

被災者の火葬費用を精算

東日本大震災の被災者の火葬費用について、遺族が負担した分の精算を行っています。

申請には火葬許可証の写しや領収書が必要です。詳しくはお問い合わせください。

▶対象経費…①ひつぎ・骨箱②火葬場使用料③遺体搬送料など ※葬儀費用は対象外です

▶申請期限…11月30日(木)消印有効

☎県民くらしの安全課 ☎019-629-6876

募集

無料でスキルアップ

コース	期間	定員
ワードビジネス活用II	11/29(火)・30(水)	15
パワーポイント企画書作成	12/6(火)・7(水)	15

▶時間…9時～16時

▶会場…久慈職業能力開発センター

▶申し込み…2週間前まで

☎久慈職業能力開発センター ☎53-6261

あーとびる・麦生感謝デー
【あーとびる開館日時】
土日のみ10時～16時

本年度の開館は11月27日(日)まで。11月13日(日)は感謝デーとして入館無料。14時からはジャズ&演歌の演奏会も開催します!

福祉の活動に助成金!

平成24年度に行う福祉活動に必要な機器の購入経費を1～20万円まで助成します。希望する団体は11月25日(金)までに申請ください。

▶対象…ボランティア団体や町内会など

☎久慈市社会福祉協議会 ☎53-3380

空き家を探しています

市では、市内の空き家を有効活用するため、県外からの移住希望者に空き家情報を提供する「空き家バンク」制度に取り組んでいます。

使い道が決まっていない空き家などがある場合は、ぜひお知らせください。

☎交流促進課 ☎52-2168

市営住宅空きあります

住宅名	戸数	家賃(月額)
川井団地	1戸	2,900円～4,300円

▶申し込み…11月15日(火)まで

☎建築住宅課 ☎52-2120

☎山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

相談

高齢者・障がい者の相談

高齢者、障がい者とその家族が抱える悩みや困りごとの相談を専門家が無料で受け付けます。

▶日時…11月15日(火)13時～17時

▶面接相談の会場…岩手県福祉総合相談センター(盛岡市)

▶相談用電話…☎019-625-0110

久慈市社会福祉協議会職員を募集

— 一般事務1人 —

▶受験資格…次のすべてに該当①大学卒業者(短期大学を除く・※)で昭和56年4月2日以降生まれ②社会福祉士の有資格者(※)③普通自動車運転免許所持者(AT限定不可・※)

※いずれも翌年3月取得(卒業)見込みを含む

▶申込方法…申込用紙は下記で交付。申込用紙に資格証明書などを添付して直接提出。(代理提出可)

▶申込期限…11月16日(水)17時

▶試験日時…11月23日(水・祝)10時～

▶試験会場…総合福祉センター(福祉の村内)

☎久慈市社会福祉協議会 ☎53-3380
〒028-0014 久慈市旭町7-127-3

家庭の水道の無料相談

水道事業者で組織する久慈市管工業協同組合では、結成30周年を記念して無料相談を実施します。申し込み者に日時を連絡した上で、組合員が各家庭を訪問します。

▶相談期間…11月16日(木)～30日(木)

▶対象世帯…一人暮らしの65歳以上

▶相談内容…水道管の凍結防止など ※修理費は実費負担になります

▶申し込み…11月15日(火)まで

☎久慈市管工業協同組合 ☎55-2267

イ歯デーの電話相談

歯や口に関する悩みの無料電話相談です。相談を受け付けた後、19時以降に、歯科医師が相談者に電話をして回答します。

▶日時…11月8日(火)10時～19時

☎岩手県保険医協会歯科部 ☎019-651-7341

おめでた・おくやみ

9/16～10/15届け出分(敬称略)

♥おめでとう

()内は旧姓

◇誕生おめでとう ()内は保護者名

◆おくやみ申し上げます ()内は年齢

自慢の品々を笑顔で—

参加3年目の繋地区・山野食の会。野菜やヤマブドウ、豆腐など地域の自慢の品々を笑顔でPRしました



広報くじ 11月1日号 No.136

植物油、大豆ノックを使用しています

再生紙を使用しています

山形の魅力をPR

ぐれっと！やまがた街道祭

地域自慢の品々でおもてなし。山形町をまるごと楽しめるイベント「ぐれっと！やまがた街道祭」は10月8日と9日、全18会場で開催。恒例のスタンプラリーも実施し、延べ約1万5千人が各地区の逸品を目指して町内を巡りました。

今回は、霜畑地区の霜畑営農研修館が初参加。各会場では、大人も子どもも協力して郷土料理や野菜、工芸品などの紹介・販売を行い、山形のある魅力を紹介しました。



上 野菜や雑穀などを販売した初参加の霜畑営農研修館も連日盛況
中 食だけでなく体験なども大人気！
下 山形の魅力を味わい、自然と笑顔に

参加良かった！

霜畑営農研修館会場の実行委代表。みんなで張り切って運営し大盛況。参加して本当に良かったです！



鹿糠信夫 さん
(山形町)

特別楽しい！

いとも一緒に10人でスタンプラリー。楽しい木工体験に、おいしいおそば。今日は特別楽しいです！



沢春奈 ちゃん
(久慈湊小3年)



編集後記

▶10月もイベントなどが盛りだくさん。人でにぎわい、活気づく姿を見ると、震災からの復旧・復興が着実に進んでいることを感じます▶定置網漁の取材では小袖定置網組合の皆さんに大変お世話になりました。皆が必死になっていた漁の現場。浜にかかる決意と意気込み、力強さを感じました▶今月はアワビも口開け。秋サケ漁とともに、さらに港が活気づいていくことを心から願います▶中学・高校の県新人大会なども次々と開催。市内生徒たちも大活躍しています。今月もうれしいニュースが聞こえてきそうで楽しみです▶寒くはなりますが、熱気は増しそうな11月。今月も皆さんの“思い”を取材していきたいと思ひます。(八重桜)



諺子晃生 くん(1歳)
諺子智之さん、恵美さんの長男(小久慈町)

高橋智之 くん(1歳)
高橋秀明さんの長男(長内町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎02-2116)に応募ください。写真はお返しします。